

平成 25 年 11 月 14 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 25 年 11 月 14 日 (木曜日)

午後 1 時 30 分から午後 2 時 55 分まで

2 場 所 小国支所 3 階会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信 委 員 中村 美和
委 員 青柳 由美子 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	子育て支援部長	矢沢 康子
教育総務課長	若月 和浩	教育施設課長	中村 仁
学務課長	田村 均	学校教育課長補佐	竹内 正浩
子ども家庭課長	佐藤 正高	保育課長	栗林 洋子
中央公民館長	武樋 正隆	中央図書館長	金垣 孝二
科学博物館長	山屋 茂人	学校教育課主幹兼管理指導主事	大矢 慎一
学校教育課主幹兼管理指導主事	笠原 徹	学校教育課主幹兼管理指導主事	山之内方史
スポーツ振興課長	川上 春雄		

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	茂田井裕子	教育総務課庶務係長	水内 智憲
教育総務課庶務係	清水 晶子		

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 46 号	指定管理者指定の申出について (長岡市法末自然の家の指定管理者の指定)
3	第 47 号	補正予算の要求について
4	第 48 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 11 月定例会を開会する。

日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、中村委員及び加藤委員を指名する。

日程第 2 議案第 46 号 指定管理者指定の申出について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 46 号 指定管理者指定の申出について を議題とする。事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) この件は、長岡市法末自然の家の指定管理者の指定を申し出るものである。施設名は長岡市法末自然の家で小国地域にある。指定する団体は法末振興組合、指定の期間は平成 26 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの 5 年間である。法末振興組合は現在、指定管理者として指定されており、継続するという形になる。決定については市議会の議決になる。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定

することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第3 議案第47号 補正予算の要求について

(大橋委員長) 日程第3 議案第47号 補正予算の要求について を議題とする。

なお、この議案は公表前のものであるので、秘密会の扱いとしたいと思うが、いかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) では、秘密会にする。

————— 会議規則第43条の規定により記録中止 —————

日程第4 議案第48号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(大橋委員長) 日程第4 議案第48号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(若月教育総務課長) この議案は、学校医を16年8か月務められた方が去る11月13日に亡くなられたことから、長岡市教育委員会表彰規則第2条第7号に該当し、表彰に値するのではないかとということで審議していただくものである。被表彰者の氏名、生年月日、住所、職業については、添付の内申書に記載のとおりである。功績は、先ほど述べたとおり平成9年4月から亡くなられた平成25年11月12日までの16年8か月の間、学校医を務められ、児童生徒の学校保健の向上に寄与されたものである。よろしく御審議をお願いします。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、内申のあった者を被表彰者として適としたいがいかがか。

[全員了承]

(大橋委員長) それでは、被表彰者として決定する。

(大橋委員長) 次に協議報告事項に入る。報告事項として最初に、附属機関会議報告について、事務局の説明を求める。

(川上スポーツ振興課長) 去る 11 月 7 日(木曜日)に市民体育館会議室において開催した第 1 回長岡市スポーツ推進審議会について報告する。出席委員は定数 20 名のうち 11 名であった。会議内容としては、まず初めに平成 25 年度長岡市のスポーツ振興事業及び長岡市スポーツ協会事業の中間報告を行った。事業の柱とする「生涯スポーツ活動の推進及び競技力の向上」については、これまで長岡市スポーツ協会等関係団体と連携を図り順調に進めてきていること、特に競技スポーツの振興についてはバスケットボールの長岡帝京高校男子、バレーボールでは長岡工業高校男子・長岡大手高校女子がアベック優勝を果たすなど高校団体種目の活躍が見られたこと、また、先の教育委員会表彰を受けたバレーボール長岡市ジュニアクラブ女子チームの全国大会優勝など、継続したこれまでの取り組みの成果を報告した。「スポーツ施設設備」に関しては、ニュータウン運動公園に 2 面目のサッカー場が完成したこと、市民体育館北側に器械体操練習場の整備に着手したこと等を報告した。次に平成 26 年度のスポーツ振興事業等については、現在検討を進めている事項や計画の方向性について説明し、次の意見交換の時間に各委員からの意見、提案を聞き、次年度以降の計画に反映することとした。2020 年東京オリンピック・パラリンピックの招致が決定し、否応なしに市民のスポーツへの関心は高まるものと思う。7 年後とは言え、このことを良いきっかけととらえ、今後の本市スポーツのさらなる振興につなげていく方針であることを説明した。市民の生涯スポーツ活動への参加拡大、特にスポーツ団体等ジュニア層においては女子児童参加率向上の取り組みが必要であること、また、障害のあるなしに関わらずスポーツを楽しむ環境づくりが課題であること、また、「スポーツ競技力の向上」については、小・中学生のジュニアスポーツの指導体制充実が大きな課題であること等の説明をした。これを受けて、意見交換の時間では各委員からの意見、提案があった。生涯スポーツ推進の観点からも関係機関、団体の連携による障害者のスポーツ活動の推進に取り

組む必要がある。子どもたちの体力低下が気になる。体力・運動能力向上の取り組みが必要で、特に走る体力が落ちているのではないか。この意見に対して、自分の住んでいる地区の駅伝大会では中学生チームが三連覇をしている。学校を挙げた取り組みを通して成果が出ている。その反面、女子スポーツの取り組みが必要だと感じる。子どもたちのスポーツについて、小学校では部活動の取り組みが全くなかったが、中学校でも部活動がなくなるのではないかと心配する意見があった。この意見に対して、学校教育だけに求めることが難しくなっており、今後は総合型地域スポーツクラブ等の役割が重要になってきている。以上のような意見を今後のスポーツ事業計画策定の参考にしたいと思う。会議終了後には先ほどの報告にあった、器械体操練習場及びニュータウン運動公園サッカー場を見学した。報告は以上である。

(山屋科学博物館長) 続いて平成 25 年度 第 2 回長岡市水族博物館協議会の会議・視察報告に移る。期日は平成 25 年 10 月 31 日(木曜日)、視察地は山形県鶴岡市立加茂水族館で、加茂水族館はクラゲ水族館としても非常に有名な水族館である。出席者は長岡市寺泊水族博物館協議会委員 7 名、長岡市寺泊地域委員会委員 2 名のほか記載の者である。視察の内容だが、水族館自体は開館からまもなく 50 年が経ち非常に古い古典的な施設であり、延床面積が 1,200 m²と寺泊水族館よりも小さく、全国的に見ても小さな水族館である。加茂水族館の特徴の一つに、一時、入館者数が激減したが、近年大幅に増えたことがある。館長の村上さんが加茂水族館のスタートから関わってきた方で、入館者数を大幅に増やすための方策として日本一のクラゲ展示を達成するまでにしてきたことについて、細かいところを非常に多く教えてもらった。現在、建設中の新館のクラゲ展示室は 2 倍以上の広さになる予定で、水族館運営にあたってたくさんの御指導をいただいた。また、視察にあたって委員から世界一のクラゲ水族館として有名になった経緯や、新加茂水族館の運営や将来展望について、また新加茂水族館の建設費用と財源についてといった質問があり、館長から丁寧に答えてもらった。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(中村委員) スポーツ推進審議会会議報告で、小学校では部活動の取り組みが全くなかったとあるが、それがどういった経緯で全くなかったのかということもふ

まえて、中学校の部活がなくなっていくという心配なのか。長岡市としては中学校の部活がなくなっていくとなればどういった考えがあるのか。

(川上スポーツ振興課長) 全国的に見ても小学校としての部活の取り組みが難しいので、このままだと中学校もという危惧があるということである。

(大矢学校教育課管理指導主事) 中学校の学校現場での部活動がなくなると言う話は一切ない。部活の意義ということが中学校現場では大切なので、今は小学校と同じように全くなくなっていくという心配はない。

(中村委員) 小学校の部活がなくなったというのはなぜなのか。

(大矢学校教育課管理指導主事) 以前、小学校の部活動は一生懸命だったが、それが社会体育のスポーツ少年団等に移行したものである。小学校ではクラブ活動は教育活動として位置づけられているが、部活動は位置づけられていなかった。本来の小学校の取り組みをするようになり、部活動がなくなった。また、体力面では小学校には体育の授業があり、教育活動全般の中で体力をつけるということについては取り組んでいるところである。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(青柳委員) 加茂水族館の入館料はいくらか。

(山屋科学博物館長) 800円である。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 長岡の水族館に関しては、今後の施策で今回の視察を活かす考えはあるのか。

(山屋科学博物館長) 水族館業界は全体的に業績が悪い。クラゲは癒しの効果があるとされているので、それを利用してPRしたことで加茂水族館の入館者数が増えた。寺泊水族博物館でも特色が出せるよう検討していきたい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(大橋委員長) スポーツ推進審議会会議で委員の方の欠席が9名とあるが、何か大きな理由があるのか。

(川上スポーツ振興課長) 毎回ではないが、今回は欠席者が9名となってしまった。今後は各委員の出席可能な日程調整を行っていきたい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見はなしと認める。

(大橋委員長) 次に、平成 26 年度当初予算における教育委員会の新規事業等について事務局の説明を求める。なお、この議案は公表前のものであるため、秘密会の扱いとしたいと思うが、いかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) では、秘密会にする。

————— 会議規則第 43 条の規定により記録中止 —————

(大橋委員長) 他に報告事項はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) 本日は、定例会の前に上小国小学校と小国中学校を訪問した。委員の皆さんの意見、感想はいかがか。

(中村委員) 上小国小学校を訪問した。第一印象は、掃除が行き届いている綺麗な校舎で、教室内も片付いていて気持ち良かった。少人数クラスで先生方も力のある方が多いと感じた。中には講師や助教授の方もいたが、他の先生方とペアを組んで日々、授業に取り組んでいるとのことであった。子どもたちも一生懸命授業に取り組んでおり、「なかよし」という 2 年生 2 人と 6 年生 1 人の特別支援学級があり、学年は違うが先生方が的確な指示を与えていて非常に上手だと感じた。総合学習で小国和紙を 4 年前から扱っているそうで、学校内にも和紙の原料になる「こうぞ」の畑がある。それを使って卒業証書や図工作品を作っており、素晴らしい作品がある

ので、もっと市の中心街のアオーレなどで子どもたちの作品を飾ってはどうかと思った。また、各教室のファンヒーターの前にマスコットが書いてあるような大きな板があり、これは何かと教頭先生に聞いたところ、暖房が直接子どもにあたると熱くなってしまうのでそれを防ぐため、風を散らすための工夫だそうである。先生の心遣いは親からみてもありがたい配慮だと思った。以上のことからとても良い学校環境だと感じた。

(大橋委員長) 上小国小学校を訪問した。児童数が53名、保護者が43人で一番大きな集落は73世帯もあるにも関わらず、来年1年生になる子どもが0人である。現在、1年生は6人、来年の1年生は5人になる。5、6年生は7人ずつでほとんど男の子だそうで非常に変則的な児童の分布になっている。そうであるにも関わらず、トイレ一つひとつがすごく綺麗で掃除が徹底している。子どもたちだけでなく管理員さんの働きも良いと感じた。子どもたちは明るく落ち着いていて元気があり、人数が少なくてもったいない校舎だと思った。

(青柳委員) 小国中学校を訪問した。面白いと思ったのは1つの保育園から3つの小学校に分かれて、中学校でまた再会し、1つになるところである。全校135人で3学年を縦割りにして、「小国カンパニー」と言う地域貢献活動をしている。カンパニー活動なので会社組織になっており、実行本部があり、技術部、活動部、企画部、営業部と分かれていて、それぞれに部長もいる。その部に生徒各々が所属しており、委員会活動よりも大人の社会に早くから参加して、責任をもったカンパニー活動をしているのが印象的だった。また、小国中学校は自分を見つめる事を大切にしている。自分の次に家庭があり、学校があり、地域がある。自分も地域の住人として地域を見つめることは、自分を良く知ることだということを教えている。校歌の中に「ふるさとを興す使命ぞ」という歌詞があるが、それを歌うことによって自分が地域の住人としての自覚を持っている子が多いと感じた。他にも小国の湧き水でお茶を淹れたり、ゼリーを作ったりして、カンパニー活動の一環としてアオーレで自分たちの地域を紹介するという活動をしている。そこで地域の活動を通してPRするとき、自分がこの活動を通してどうなったということではなく、地域の住人としてPRできたという感想を子どもの口から聞いて、早くから大人の社会に慣れるとても良い体験だと感じた。

(羽賀委員) 小国中学校を訪問した。地域貢献活動は総合して 50 時間になるが、非常に大きな成果が子どもたちの教育効果として現れている。その中でも校歌から柱を立てていて、子どもたちの実際の活動を彼らの実践に委ねて行っている。カンパニーという意味も先生方が吟味して決め、会社という意味と仲間という意味があることを子どもたちに伝えている。自分を同心円の真ん中に据え、家庭、学校、地域と広がって行くが、この関係性をしっかりと考えさせ、地域に貢献すると共に地域から元気をもたらしているという活動をしている。また、子どもたちが素直で元気で落ち着いていると感じた。掲示物を見ても非常に丁寧で整理されて貼られており、子どもが主体であることを実感した。先生方の一体感もあり、一言で言えばオーダーメイドの教育が行き渡っている学校と受け止めた。

(加藤教育長) 子どもたちがアオーレに行った際のケーブルテレビでの取材を見たが、インタビューで、あまりアオーレには来ないので緊張したと言っていた。小国中学校の子は学校帰りにアオーレに寄ることもできないし、土日にイベントがあっても気軽には行けない。バスを乗り継いで時間をかけなければ行けないというところを考えなければならないと思った。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これで意見交換を終了する。事務局におかれては、各委員の御意見等を今後の業務の参考としていただきたい。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員